

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	40	05	市民提案型協働事業「社会人落語による地域活性化事業」			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課			瀧塚	64814

事業の概要									
事業の概要		社会人落語家によるアマチュア寄席を開催する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		令和4年度	—						
地域の課題と現状		近年はコロナ禍で引きこもりがちになる方々(特に高齢者)が社会的な課題となっており、外出して社会交流のきっかけが必要である。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	249	80						
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	249	80						

計画 (Plan)	
事業の目的	社会人落語家によるアマチュア寄席の開催を通じて、特に高齢者を中心とした全世代の方々を対象に笑いで活気溢れる場を提供し、地域の活性化に貢献する。
今年度の事業の取組内容	やかん寄席～特別編～、オンラインやかん寄席などを開催する。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		やかん寄席特別編の開催(てくのかわさき、ブラザ橋) オンラインやかん寄席の開催(大蓮寺) 地ケア落語動画の作成・配信								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	やかん寄席～特別編～の開催			2				回
			オンラインやかん寄席の開催			1				
	2	活動指標	オンラインやかん寄席の開催			1				回
						1				
3					目標					
					実績					
4					目標					
					実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		コロナ禍で娯楽に触れる機会が減ってしまう等、引きこもりがちになる方々(特に高齢者)にとっての外出のきっかけとして、またご近所で社会交流できる機会として、気軽に参加できる場の提供が求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(5年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		参加者アンケートを実施・分析し、さらに広く市民へ訴求できるよう改善につなげる。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	落語や演芸という古典芸能の提供は、健康増進や活力維持のサポートといった点において有効である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	開催したやかん寄席はいずれも多くの来場、視聴があり、計画書で目的としていた「外出して社会交流のきっかけとなる」「笑いによる健康面での効果」「文化的な体験」などの成果が得られた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	提案団体等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了	Ⅱ 本事業は市民提案型協働事業であるため市民団体からの提案を受けて実施するものだが、令和5年度も提案があり、採択されたため、引き続き実施する。 継続実施をしていくことにより、多くの区民へ古典芸能を伝えていくことや、より身近な地域施設での公演開催することで、継続公演を実現する。また公演を通じ、多世代交流や、笑いによる健康増進といった地域ケアの推進に寄与する。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小	高津区市民提案型協働事業 『Scratch×Soccer』スポーツとプログラミングで子ども達の未来を育む事業			
58	05	25	26	40	05				
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		石丸	64352	

事業の概要									
事業の概要		“将来のIT人材を生み出すことと、スポーツのまち川崎を代表するような体を動かすことが好きな子ども達で溢れる健やかなまちづくり”を目標に、高津区内の小学生を対象として、川崎フロンターレなど地域団体と連携し、スポーツ(運動)とIT(プログラミング)を掛け合わせたワークショップ(Scratch×Soccer)を開催する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		令和4年度	—						
地域の課題と現状		スポーツ庁実施の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、本市は全国平均と比べて低い傾向が続いており、またスポーツが好きと答えた割合も低い傾向にあり、まずはスポーツを気軽に楽しむことができる取組みが求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	287	287						
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	287	287						

計画 (Plan)	
事業の目的	ワークショップ(Scratch×Soccer)を開催することにより、スポーツ(運動)することの楽しさを体感させ、子ども達の健やかな成長につなげることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	区内小学校(3校程度)において、授業の一環としてワークショップを実施する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		区内小学校の授業の一環としてワークショップ(Scratch×Soccer)を開催。 ①梶ヶ谷小学校(11月30日(水)) ②西梶ヶ谷小学校(12月6日(火)) ③下作延小学校(12月20日(火))							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1 成果指標	ワークショップの実施(参加者)	目標	90				人	
			実績	330					
	2 成果指標	ワークショップ実施校	目標	3			校		
			実績	3					
3		目標							
		実績							
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		スポーツ庁実施の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、本市は全国平均と比べて低い傾向が続いており、またスポーツが好きと答えた割合も低い傾向にあり、まずはスポーツを気軽に楽しむことができる取組みが求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	スポーツを気軽に楽しむことができる事業への関心やニーズは高まっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	学校の授業の一環として実施したことにより目標を上回る人数の参加を得た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	役割分担や各コンテンツ内容の見直しなどによる経費削減や事務改善の可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 ワークショップの内容を見直しながら今後も事業を継続していく。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費(青空かみしばい&和物大道芸 in たかつ)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		高津区役所地域振興課		仁	64355	

事業の概要									
事業の概要		高津区役所主催のイベント等で、現代の街頭紙芝居及び和物文化の大道芸を実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応その他事業費				
		令和2年度	—						
地域の課題と現状		高津区は子供の人口が比較的多い割には、おもに溝の口駅近隣エリアは地方から出てきたマンションで暮らす子育て世帯が多く、母親の子育てならぬ孤育ての問題を抱えている。また一方で老朽化したマンションや戸建てには独居老人の孤立化も進みつつある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	300		300					
		財源内訳	国庫支出金						
市債									
その他特財									
一般財源	300	300							

計画 (Plan)	
事業の目的	地域住民相互のつながりの希薄化が進む中で、多世代が参加できる場が重要視されている。そこで、現代の街頭紙芝居及び継承者が少なくなっている和物文化の大道芸を、高津区役所主催のイベントで実施することにより、子育て世代からシニア世代までの多世代が交流できる場をつくり、新たなつながりを生み出すとともに地域活性化を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	定期的に開催される「高津さんの市」や区の主催イベントに合わせて同時に「青空かみしばい」という地域住民とプロ紙芝居師とによる紙芝居セッションを開催する。紙芝居は障がいのあるなし、外国籍など、あらゆる違いを超え自己表現できることから、観客は演者の個性を知り親しみをもち、あらたなつながりを生み出す。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	【第1弾】夏休み！青空寄席 【第2弾】青空かみしばい講演「紙芝居研究家タラ・マクガワン」 【第3弾】青空かみしばい&和物大道芸in 高津区子どもフェア 【第4弾】川崎市民プラザで紙しばい								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	参加イベント全4回の来場者数	目標	500					人
			実績	1000					
	2		目標						
実績									
3		目標							
		実績							
4		目標							
		実績							

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	現在もコロナ禍によって対面でのイベントの開催が難しかったが、オンラインを活用し、多くの人が参加できるよう工夫した。
事業の見直し・改善内容	実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	Youtubeたかつ区チャンネルにアーカイブ配信をアップするなど、オンラインも活用し、より多くの方に見てもらえるよう工夫した。 また、【第2弾】青空かみしばい講演では、海外の有識者を招き大人向け講演会を追加実施した。3年ぶりの日本来日ということもあり、紙芝居に携わる人が、区内だけでなく全国から集まり、会場の参加者のほか、オンラインでの参加者も多く想定を上回った。

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	コロナの長期化によりイベントのニーズは高まっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	様々な形式のイベント方式を取ったことにより目標を上回る人数の参加を得た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	役割分担や各コンテンツ内容の見直しなどによる経費削減や事務改善の可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
		市民提案型事業が3年目を迎えたため、令和4年度をもって事業終了となった。状況に応じて後援等により支援することも検討している。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	40	05	市民提案型協働事業「高津せせらぎプレーパークプロジェクト」			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671650		まちづくり推進部企画課			堤	64121

事業の概要									
事業の概要		多摩川河川敷のせせらぎと親子広場で、子どもが思い切り遊べる場や多摩川の自然に親しめる場などをつくることを目的にプレーパークづくりを行い、大人が子どもを見守ることでそれらの場を創出する。							
実施期間		事業開始年度 令和2年度	事業終了年度 令和4年度	予算中事業	高津区市民提案型協働事業費				
地域の課題と現状		子どもの健全な成長には自由に思い切り遊べる場が必要だが区内には広い公園などが少なく、また、地域に多摩川という魅力ある自然があるものの水難事故の危険から子どもたちだけで自由に親しむ機会が少ない。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	328	225						
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	328	225						

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもが思い切り遊べる場や多摩川の自然に親しめる場などをつくること。
今年度の事業の取組内容	10月・12月ごろに各1回、多摩川河川敷のせせらぎと親子広場及び多摩川緑地パーベキュー広場でプレーパークを実施する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・プレーパークを10月に1回、たき火イベントを12月に1回開催した(10/1:参加者145人、12/12:参加者27人)。 ・プレーパークの開催に向けたチラシの作成(1回)や、広報誌「プレーパークだより」の作成(3回)を通じて、イベント実施時期に関わらず通年で広報に取り組んだ。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	プレーパーク等の開催回数	目標	2					回
			実績	2					
	2		目標						
			実績						
3		目標							
		実績							
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	育て支援の一環として、子どもの居場所づくりも必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	計画通りにイベントを開催した。また、たき火イベントは新規取り組みであったが、安全面に十分な配慮を行いながら成功させた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	3年間の活動を通じて、多くの経験や多方面への繋がりが得られた。これらを活用し、広報や資材・資金確保等において事業改善の可能性はある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
市民提案型事業が3年目を迎えたため、令和4年度をもって事業終了となった。団体の自立的な活動に期待すると共に、状況に応じて広報の協力等により支援することも検討している。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	40	10	高津区地域課題対応事業管理運営事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		堤	64121	

事業の概要												
事業の概要		高津区地域課題対応事業の効率的・効果的な推進を支えるため、必要となる事務・管理運営を行う。										
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応その他事業							
		—	—									
地域の課題と現状		高津区内地域課題対応事業全体における管理運営上の課題を的確に見つけ出し、速やかに執行する必要がある。										
予決算 (単位:千円)	年度	事業費	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度			
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
		財源内訳	国庫支出金									
			市債 その他特財 一般財源	1286	338	988						

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区地域課題対応事業全体の適正かつ円滑な執行を図るため、その管理運営上必要となる事務・管理運営を行う。
今年度の事業の取組内容	オンラインイベント支援にかかる委託料ほか、必要経費を見直し。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	・令和4年度高津区転入者向け案内チラシ・ボードの作成(配布、設置) ・各課での共通使用可能な撮影機器の購入(コロナ禍における動画活用機会増加のため)									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標					
					実績					
	2				目標					
					実績					
3				目標						
				実績						
4				目標						
				実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	コロナ禍における社会情勢の変化によりオンライン・動画の活用が増えたことで、事務・広報等多岐に渡る業務で従来の方法から大きく変化を求められている。社会環境の変化に応じて速やかに対応していくことが求められる。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	社会環境の変化等に対する課題解決のため、引き続き本事業のニーズは大きいと考える。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区内における課題解決のほか、転入者に向けた高津区の魅力発信を行い、引き続き多くの人に広く周知していく。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区内の課題随時調査し事務・管理運営を行い、状況に応じた機材の購入等による改善を進める。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 高津区地域課題対応事業全体における現状の課題を解決する一方で、今後も各課との調整を密に行い、適宜適切な事務・管理運営を行う。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	25	高津区区制50周年記念事業関連事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671650		まちづくり推進部企画課			越智	64121

事業の概要									
事業の概要		区制50周年の節目を契機として、地域におけるつながり作り、区の魅力発信等を進め、次世代につなげることを目的に、記念制作物の作成及びイベント等を実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応その他事業				
		令和3年度	令和4年度						
地域の課題と現状		より多くの区民に認知してもらえよう、広報・周知していく必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2000	1618						
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	2000	1618						

計画 (Plan)	
事業の目的	区制50周年を区民に向けて周知することで区への愛着を深める契機とする。
今年度の事業の取組内容	広報用の記念品の作成、各ミニイベントの実施。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 「50周年記念高津ふるさとアーカイブ」写真選定イベントの実施 周年記念のロゴマークをデザインしめり絵を配布、展示 「50周年拡大版 ステキに映え農フォトコンテスト2022」の実施 未来へのメッセージ寄せ書きし横断幕を完成させるイベントの実施 イルミネーション点灯式にて、区長から区制50周年に寄せた挨拶を行うとともに、来賓へ周年記念ノベルティを配布 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	イベントの実施	目標	5				回
				実績	5				
	2	活動指標	広報用グッズの作成	目標	5				個
				実績	5				
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	令和4年度に区制50周年という節目の年を迎えるにあたり、多様な主体と連携しながら、区民のまちへの愛着や区民であることへの誇りを喚起していくためにも必要である。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民のまちへの愛着や区民であることへの誇りを喚起していくためにも必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民はもちろん、溝口駅を利用する人や、イベントに参加した人など、多くの人に広く周知できたと考え。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	作成した成果物の活用方法の検討など見直しを行い、改善を進める。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III